

5月23日実施 HOKUSAI 利用者説明会および意見交換議事録

日時 2017年5月23日午後1時

会場 和光 統合支援施設大会議室

説明者 情報システム部 検崎

司会 情報システム部 黒川

【前半】 HOKUSAI BigWaterfall について

■質疑応答

Q1) 8月から9月に申請だと、トライアルよりも前に申請することになるが。

A1) FX100 導入の時と異なり、インテルアーキテクチャは多くの方が利用経験があるため本運用を早く始めることを優先させるべきと考えたが、まだ確定ではありませんので、コメントを踏まえて検討します。

Q2) OSは何になるか。

A2) 主に CentOS7 になり、一部 RedHat7 になる。

Q3) 利用期間は何年か。

A3) 5年間の予定。

Q4) GreatWave と BigWaterfall のシステム間のディスクストレージの I/O 性能は問題ないか。

A4) システム間の帯域は十分あるので理論的には問題ないはずであるが、実際の利用の際には通信輻輳などが発生する可能性はある。

Q5) キューイングのシステムは RICC と同じか。

A5) RICC とは異なり、GreatWave と同じ。

Q6) CPU のスペックはいつわかるか。

A6) 次回の利用者説明会では説明する。

■利用者からのコメント

トライアルより前に一般利用の申請は厳しい。正確な演算時間見積もりができない。

■情報システム部からの補足

次回の利用説明会は7月中を考えている。

【後半】 HOKUAI の 2016 年度の運用報告

■利用者からのコメント

(一般利用の消費演算時間の統計が誤っていた件)

CPU の利用実績が許可演算時間に対して少なかったことで、次回の課題審査で指摘されることもあったので影響があったと思われる。

【その他、説明内容に関わらない件での質問および意見交換】

Q7) テープの利用状況が正しく確認できるタイミングはいつなのか。

A7) キャッシュ (ハードディスク) からテープへのマイグレーションされた後となる。キャッシュにはテープの残量を超えて書き込めてしまうが、与えられたテープに書ききれないという事態が生じた場合は個別に連絡している。

Q8) /home と /data で性能差はあるか。

A8) RICC と異なり、HOKUSAI では /home と /data で性能の違いはない。ジョブ実行時に違いが生じた場合他の要因が考えられる。

Q9) BigWaterfall の計算ノードでローカルのディスクが使えるとありがたいのだが無いのか。

A9) BigWaterfall では、ローカルストレージの容量が小さく利用できない。

Q10) ジョブの経過時間設定を短くするとジョブ実行優先度は変わるか

A10) 変わらないが、短い時間のジョブはバックフィル機能が適応されることがあり早く動く可能性がある。RICC のころから課題の優先度設定はフェアシェアの回復率の設定のみで行っている。

フェアシェアの説明 <http://accr.riken.jp/supercom/priority/>

Q11) ジョブの最長経過時間を、特に ACS について、もっと長くしてもらえないか。

A11) ACS のジョブの最長経過時間については変更を検討中である。

Q13) 次のシステムの方針は現段階でなにかあるか。

A13) 来年から導入作業部会を立ち上げる。GreatWave のリプレイスであるので 2020 年の稼働となる予定である。理研として研究成果が最大化できるシステムを目標として検討するが、CPU などの技術動向がまだ見えていない部分もあるので引き続き調査を続ける。

以上